

# 編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-15	中学校	道徳科	道徳	3
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 902	中学道徳3 とびだそう未来へ		

## 1. 編修の基本方針

### ① 主体的・対話的で深い学びを通して、豊かな道徳性を育てる

道徳的諸価値に関わるさまざまなことがらを、自分の生き方に引きつけて考え、議論していくことを通して、自分自身を深く理解し、人間としてのよりよい生き方を模索し続けていく態度を養います。

#### ●主体的・対話的で深い学びを実現する「導入」「学びの道しるべ」

教材の冒頭には「導入」の文章を設け、学習のねらいを明確にして教材内容に入れることができるようにしています。学級全体で学習テーマを共有することで、対話的な学びを深めていくことにもつながります。

教材の末尾には「学びの道しるべ」を設けています。教材理解だけでなく、物事を自分に引きつけて考えたり、多面的・多角的に考えたりする助けとなる発問を示しました。対話的な学びを深めることで、道徳的諸価値についてのより一層の理解を促します。

The image shows a preview of textbook pages. On the left, a grey box labeled '学びの道しるべ' (Learning Path) explains that it encourages self-reflection and discussion from various angles to create questions for the material. On the right, another grey box labeled '導入' (Introduction) explains that it provides a clear overview to start lessons and poses questions for the material. The background shows pages 86-87 and 90-91 with text and an illustration of a child and an adult.

#### ●自らの変化や成長を実感しながら学びをつなげる

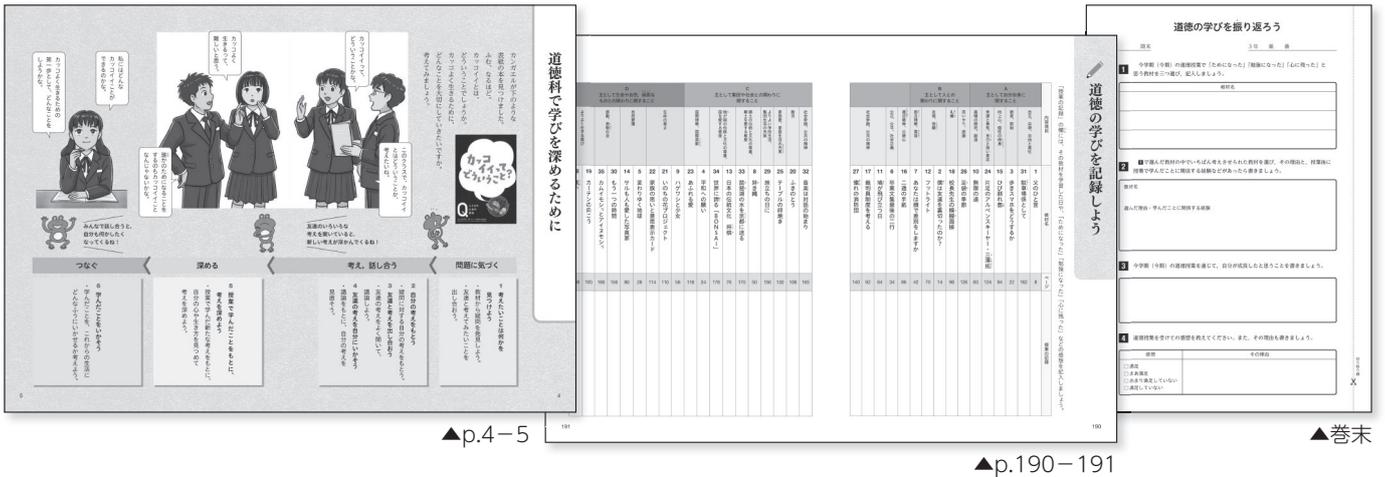
生徒一人一人が、自分自身の変化や成長を感じたり、これからの課題や目標を見つけたりしながら学習することができるようにしています。

#### 「道徳科で学びを深めるために」(p.4-5)

道徳の学習を通して考え深めていきたいことや、その方法をつかみます。

「道徳の学びを記録しよう」(p.190-191), 「道徳の学びを振り返ろう」(巻末付録)

学習したことを1時間ごとに記録するとともに、学期ごとや学年末に自分の学びや成長を振り返り、次へとつなげていきます。「道徳の学びを振り返ろう」は、切り離して提出用として使用できます。



▲p.4-5

▲p.190-191

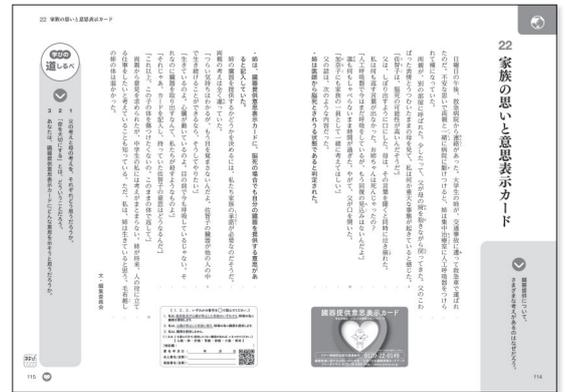
▲巻末

## ② 次の時代を切り拓いていく力を養う

現代の社会と自分とのつながりを捉え、多面的・多角的に考え、議論していくことを通して、社会と積極的に関わり、他者と協働しながらよりよい社会をつくりあげていく力を養います。

### ●生命の尊さ、いじめや差別のない社会

「生命の尊さ」「いじめや差別のない社会」については、道徳の学習を通して特に深く考えたいテーマとして、複数の教材やコラムをまとめてユニット化を図りました。多様な教材から多面的・多角的に深められるようにしています。



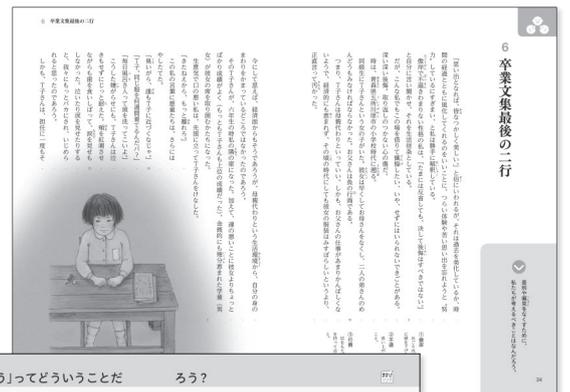
▲p.114-115

### 生命の尊さについて考えるユニット

- 「いのちの花プロジェクト」(p.110-113)
- 「家族の思いと意思表示カード」(p.114-115)
- 「あふれる愛」(p.116-123)

### いじめや差別のない社会について考えるユニット

- 「いじめに立ち向かう君に」(p.32-33)
- 「卒業文集最後の二行」(p.34-39)
- 「信頼関係を築こう」(p.40-41)
- 「あなたは顔で差別をしますか」(p.42-47)
- 「『ふつう』ってどういうことだろう?」(p.48-49)



▲p.34-35

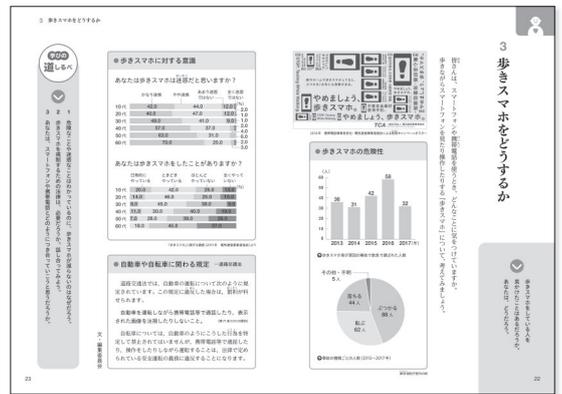


▲p.48-49

## ●情報モラル

現代社会において欠かせないコミュニケーション手段である情報機器とのよりよい付き合い方を考え、実践していく力を養います。

「歩きスマホをどうするか」(p.22-23)



▲p.22-23

## ●現代的な課題

現代的な課題に関わる教材を積極的に取り上げました。答えが一つではない課題に向き合い、よりよいあり方を考え続けていく力を養います。

「変わりゆく地球」(持続可能な発展 p.28-31)

「サルも人も愛した写真家」(自然環境保全 p.80-83)

「家族の思いと意思表示カード」(生命倫理 p.114-115)



▲p.28-29

## ●社会参画

身近な集団や社会を知り、積極的に参画していく態度を育てます。

「鳩が飛び立つ日」(社会参画 p.64-69)

「裁判員制度を考える」(社会参画 p.92-95)

「ふきのとう」(勤労 p.106-109)

「憧れの消防団」(社会参画 p.140-145)



▲p.140-141

# ③ 平和を愛し、伝統や文化を尊重する心を育てる

我が国や郷土の伝統と文化、それを継承・発展させてきた人々の姿を通して、国や郷土を愛する心を育てるとともに、日本人としての誇りをもって、平和で安定した社会の形成に寄与する態度を養います。

「平和への願い」(p.24-27)

「昇き縄」(p.50-55)

「日本の伝統文化 将棋」(p.76-79)

「あふれる愛」(p.116-123)

「琵琶湖の水を京都に送る」(p.170-175)

「世界に誇る『BONSAI』」(p.176-179)



▲p.76-77

## 2. 対照表

本教科書の構成・内容は、教育基本法第2条の各号に示されている教育の目標を実現するために、次のように配慮しています。

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
道徳科で学びを深めるために	● どのようなことに留意して道徳の学習をするのか理解することで、これからの学習で豊かな情操と道徳心を培えるようにしました。(第1号)	p.4-5
1 父のひと言	● 父のひと言が「僕」の生き方に与えた影響を考えることから、自主的に考え誠実に実行することの意義を考え、自主及び自律の精神を養います。(第2号)	p.8-13
2 僕は友達を裏切ったのか?	● 野球部の活動をめぐりやりとりから、心から信頼し励まし合う友人関係について考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.14-21
3 歩きスマホをどうするか	● 「歩きスマホ」についての資料から、危険や迷惑と自分の欲望や衝動との関係に目を向け、豊かな道徳心を培うとともに、正義と責任を重んずる態度を養います。(第1号, 第3号)	p.22-23
4 平和への願い	● 平和記念資料館を訪れた時のエピソードを題材に、戦争を憎み平和を願う気持ちについて考え、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	p.24-27
5 変わりゆく地球	● 気候変動や開発による地球の変化の写真から、人間活動と自然環境との関わりについて考え、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)	p.28-31
6 卒業文集最後の二行	● いじめの加害者が将来にわたって抱える苦悩を知り、差別や偏見のない社会にしていけるためにはどうすればよいか考えることで、正義と責任、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.34-39
7 あなたは顔で差別をしますか	● 藤井さんの体験や考え方を通して、差別やいじめをなくすために必要なことについて考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.42-47
8 昇き縄	● 博多祇園山笠に参加した主人公の体験を題材に、郷土のよさを守り伝えることの意義について考え、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	p.50-55
9 ハゲワシと少女	● 写真が物語る事実から、「目の前の命を救うこと」と「報道すること」との葛藤を考え、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号)	p.56-59
10 無限の道	● 中村雀右衛門さんの生き方を通して、自らが選んだ道を誠実にひたむきに歩き続けていくことの大切さについて考え、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培います。(第2号)	p.60-63
11 鳩が飛び立つ日 ～石井筆子～	● 石井筆子さんの生き方から、全ての人がいきいきと生きられる社会を築くにはどうすればよいか考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.64-69
12 フットライト	● 学校行事に取り組む中でのできごとを題材に、同性、異性にかかわらずよい人間関係を築くことの大切さについて考え、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.70-75
13 日本の伝統文化 将棋	● 将棋界でのさまざまなニュースから、日本の将棋文化について考え、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	p.76-79
14 サルも人も愛した写真家	● サルによる農作物の被害をめぐり実話をもとに、自然を守り、自然と共存するとはどういうことなのかを考え、自然を大切に環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)	p.80-83
15 ひび割れ壺	● ひび割れ壺と水くみ人の寓話を題材に、自分らしく生きるとはどういうことかを考え、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培う態度を養います。(第2号)	p.84-85
16 二通の手紙	● 規則に違反して子どもたちを入園させた元さんの話を通して、法やきまりがなんのためにあるのかを考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.86-91
17 裁判員制度を考える	● 裁判員制度に関わるさまざまな資料から、社会と個人との関係について考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.92-95
18 校長先生の模擬面接	● 入試に備えての模擬面接の場面を題材に、社会にあるさまざまなマナーの意味について考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.96-99
19 カーテンの向こう	● ヤコブの生き方から、人間のもつ弱さや醜さ、気高さについて考え、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)	p.100-105
20 ふきのとう	● 「私」の生き方・考え方を通して、社会の一員として働くということについて考え、自主及び自律の精神と、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養います。(第2号)	p.106-109
21 いのちの花プロジェクト	● 動物が殺処分されている現実に向き合った筆者の体験を題材に、命のかけがえのなさについて考え、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号)	p.110-113

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
22 家族の思いと意思表示カード	● 臓器移植をめぐる家族の意見の対立を題材に、命を大切にすることはどういうことかについて考えを深め、生命を尊ぶ態度を養います。(第4号)	p.114-115
23 あふれる愛	● マザー＝テレサの生き方から、同じ人間として尊重し合うことについて考え、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養います。(第5号)	p.116-123
24 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓	● 三澤拓さんの生き方から、自分の目標に向かって困難に負けずに挑戦し続けることの大切さについて考え、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培います。(第2号)	p.124-129
25 テーブルの卵焼き	● 母への思いを歌う大野さんの歌を聴いた主人公の気持ちを題材に、家族の一員としての自分のあり方を考え、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第3号)	p.130-135
26 足袋の季節	● おばあさんの思いや、それを受け止めた「私」の生き方から、温かい人間関係をつくるために何が大切かを考え、豊かな情操と道徳心を培うとともに、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養います。(第1号, 第3号)	p.136-139
27 憧れの消防団	● 消防団に憧れる主人公の気持ちを題材に、社会の一員として互いに助け合うことの大切さについて考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.140-145
28 償い	● 歌詞に描かれたゆうちゃんの生き方から、人間としてよりよく生きるとはどういうことかを考え、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳性を培います。(第1号)	p.146-149
29 旅立ちの日に	● 卒業式を迎えるまでの「僕」の気持ちの変化から、学校の一員として、さまざまな人の思いを受け継ぎよりよい校風をつくっていくことの意義について考え、自他の敬愛と協力を重んじ、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.150-155
30 もう一つの時間	● 星野道夫さんのエッセイを題材に、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培います。(第1号)	p.156-160
31 駐車場係として	● 駐車場係の役割を任された時のできごとと葛藤を題材に、自分の役割を責任をもって果たすということについて考え、自主及び自律の精神を養います。(第2号)	p.162-164
32 音楽は対話の始まり	● 五嶋みどりさんが続けてきた社会貢献活動から、社会全体の向上のために責任を果たすとはどういうことかを考え、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。(第3号)	p.165-169
33 琵琶湖の水を京都に送る ～郷土の復興に尽くした北垣国道 と田辺朔郎～	● 郷土の復興に尽くした先人の姿から、郷土の発展のために寄与することの意義について考え、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	p.170-175
34 世界に誇る「BONSAI」	● 盆栽の文化を発展させてきた先人の姿から、日本のよさを守り伝えていくことの意義について考え、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	p.176-179
35 カムイモシリとアイヌモシリ	● アイヌ民族の世界観を題材に、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深め、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養います。(第4号)	p.180-183
[資料] 都道府県にゆかりのある人物と、 その言葉	● 都道府県にゆかりのある人物の言葉を通して、我が国と郷土を愛する態度を養います。(第5号)	p.184-189

### 3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

#### ①ユニバーサルデザインへの配慮

色覚等の特性をふまえた、判別しやすい配色(カラーユニバーサルデザイン)やレイアウト、文字(ユニバーサルデザインフォント)などの工夫により、すべての生徒にとって学びやすい紙面づくりに配慮しています。

#### ②特別支援教育への配慮

文章の改行位置を工夫することで文章構成をつかみやすくし、教材の内容理解がしやすくなるよう配慮しています。

#### ③地球となかよし

教科書の印刷には、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用し、地球環境への負荷軽減に配慮しています。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
31-15	中学校	道徳科	道徳	3
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
17 教出	道徳 902	中学道徳3 とびだそう未来へ		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

### ① 学びやすい、教えやすい教材構成

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要となる教科として、さまざまな学校行事や体験活動等との連携をはかりやすいような教材配列を心がけました。

#### ●行事、活動に関連する教材

- 「平和への願い」(修学旅行 p.24-27)
- 「フットライト」(文化祭 p.70-75)
- 「校長先生の模擬面接」(面接練習 p.96-99)
- 「旅立ちの日に」(卒業式 p.150-155)



▲p.70-71

#### ●補充教材

学校や生徒の実態に応じて弾力的に使える「補充教材」を5本掲載しました。重点化したい指導内容をより深めたり、地域教材として活用したりすることができます。



▲p.161

▲p.165

### ② 生徒の心を揺さぶる読み物教材

生徒が興味・関心をもてる教材、切実に感じられることがらを扱った教材を数多く取り入れました。登場人物に自己を投影することを通して、道徳的諸価値の理解を深めていくことができます。

3年生では、誰もがもっている弱さやもろさと向き合い、それらを克服し、人間として誇りをもって生きていこうとする良心の尊さについて考えを深め、自らの生き方に活かしていくことができる教材を掲載しました。

「僕は友達を裏切ったのか？」 (p.14-21)

「カーテンの向こう」 (p.100-105)

「償い」 (p.146-149)



▲p.100-101

長く教育現場で指導され親しまれてきた、定評のある教材も掲載しました。これまでの授業研究の成果を生かしながら、学習をより充実させていくことができます。

「父のひと言」 (p.8-13)

「卒業文集最後の二行」 (p.34-39)

「鳩が飛び立つ日」 (p.64-69)

「二通の手紙」 (p.86-91)

「カーテンの向こう」 (p.100-105)

「あふれる愛」 (p.116-123)

「足袋の季節」 (p.136-139)



▲p.136-137

### ③ 多様な指導方法で扱える教材

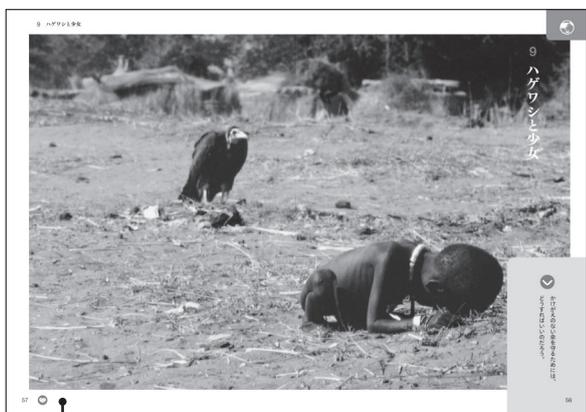
#### ●問題解決的な学習を取り入れた教材

登場人物が判断を迫られる場面が中心となる教材や、異なる立場からの考えや意見を取り上げた教材、社会全体の変化や動向を素材とした教材を取り入れました。生徒自身の考えやその根拠を問い、どうあることがよいかについて多面的・多角的に考えを深めていくことができます。

「歩きスマホをどうするか」 (p.22-23) 「変わりゆく地球」 (p.28-31)

「ハゲワシと少女」 (p.56-59) 「サルも人も愛した写真家」 (p.80-83)

「家族の思いと意思表示カード」 (p.114-115)



▲p.56-57



▲p.80-81

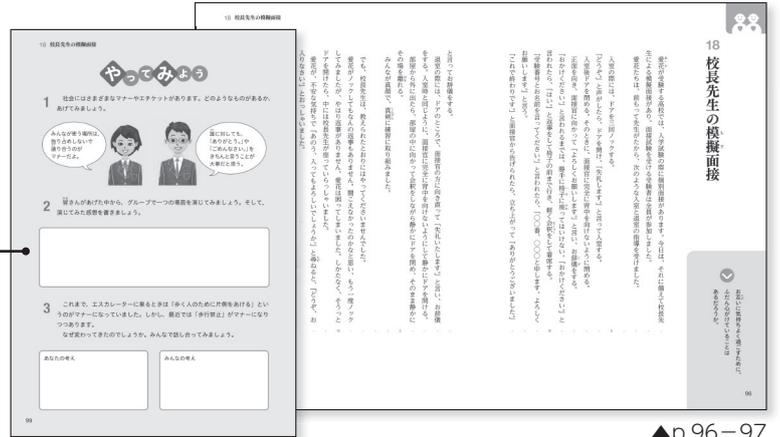
写真が語る事実から、「どうすることが生命を大切にすることなのか」について多面的に考え、深めていきます。

野生動物の保護と私たちの生活を維持していくこととの関係を考えていきます。

## ●道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材

社会のさまざまなマナーやエチケットについて知っていることを出し合ったり、類似の場面を演じてみたりする活動を取り入れました。礼儀の形やその意味についての理解を深め、日常生活での道徳的行為や習慣に結びつけることができます。

「校長先生の模擬面接」(p.96-99)



社会人として身に付けていかなければならないマナーやエチケットについて理解を深め、実践へとつなげていきます。

▲p.96

▲p.96-97

## ④ 人物の生き方、考え方から学ぶ教材

今日の社会をつくりあげてきた人々の思いや努力、道を切り拓いてきた人々の生き方や考え方に学びながら、自分自身をみがき高めていこうとする意欲を培っていくことができます。

「あなたは顔で差別をしますか」(p.42-47)

「無限の道」(p.60-63)

「鳩が飛び立つ日」(p.64-69)

「日本の伝統文化 将棋」(p.76-79)

「サルも人も愛した写真家」(p.80-83)

「あふれる愛」(p.116-123)

「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」(p.124-129)

「もう一つの時間」(p.156-160)

「音楽は対話の始まり」(p.165-169)



▲p.116-117

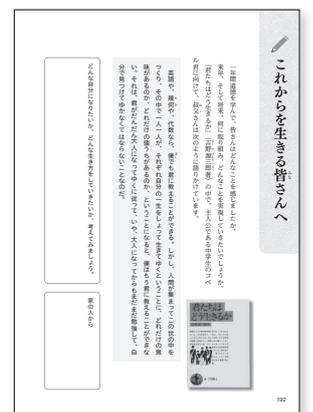
### 3年生で取り上げている主な人物

藤井輝明／中村雀右衛門／石井筆子／藤井聡太／加藤一二三／松岡史朗／マザー＝テレサ／三澤拓／星野道夫／五嶋みどり／北垣国道／田辺朔郎／加藤三郎

「資料」「都道府県にゆかりのある人物と、その言葉」(p.184-189)、「これから生きる皆さんへ」(p.192)では、さまざまな分野で活躍した人々の言葉を掲載しました。身近な地域の人物や興味をひかれた人物の言葉をきっかけにして、自分の生き方について考えを広げていくことができます。



▲p.184-185



▲p.192

## 5 発達段階や学年の特性に合わせた教材内容と配置

生徒の発達段階や、生徒を取り巻く周囲の状況に応じた教材を工夫・厳選しました。

### ●義務教育を終える学年として

自分の将来に対する目標や理想をもち、それに向かって挑戦していく態度、進んで社会的な責任を果たしていこうとする態度を培う教材を掲載しています。

「父のひと言」(p.8-13)

「無限の道」(p.60-63)

「ふきのとう」(p.106-109)

「片足のアルペンスキーヤー・三澤拓」(p.124-129)



▲p.128-129

### ●社会の一員としての役割を考える

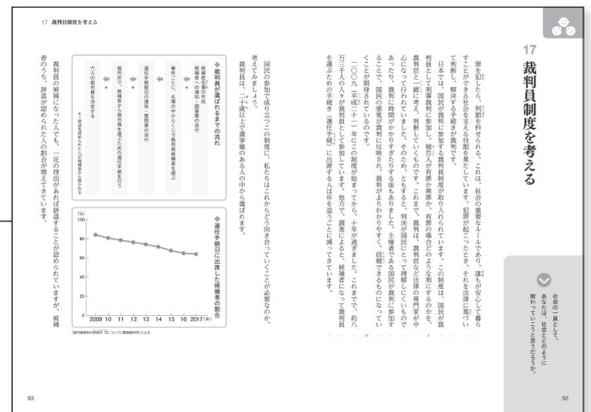
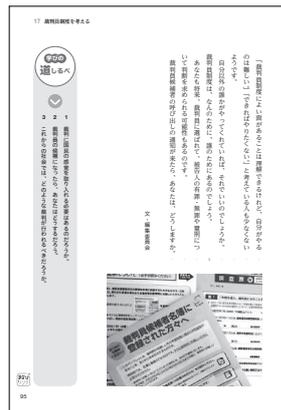
よりよい社会を築くために自分はどうのような役割を果たしていくのかについて考えを深め、主体的な行動へとつなげていきます。

「鳩が飛び立つ日」(p.64-69)

「裁判員制度を考える」(p.92-95)

「憧れの消防団」(p.140-145)

「音楽は対話の始まり」(p.165-169)



▲p.92-95

## 6 ウェブサイト情報の活用

教科書での学びをさらに深め、充実させる「まなびリンク」を用意しました。リンク先の情報を活用することで、知識を深めたり視野を広げたりすることができます。



▲p.189

## 2. 対照表

本教科書の構成・内容は、学習指導要領に示された「内容」の各事項と次のように対応しています。

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

図書構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
道徳科で学びを深めるために	全般	p.4-5	—
1 父のひと言	A [自主, 自律, 自由と責任]	p.8-13	1
2 僕は友達を裏切ったのか?	B [友情, 信頼]	p.14-21	1
3 歩きスマホをどうするか	A [節度, 節制]	p.22-23	1
4 平和への願い	C [国際理解, 国際貢献]	p.24-27	1
5 変わりゆく地球	D [自然愛護]	p.28-31	1
6 卒業文集最後の二行	C [公正, 公平, 社会正義]	p.34-39	1
7 あなたは顔で差別をしますか	B [相互理解, 寛容]	p.42-47	1
8 昇き縄	C [郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]	p.50-55	1
9 ハゲワシと少女	D [生命の尊さ]	p.56-59	1
10 無限の道	A [真理の探究, 創造]	p.60-63	1
11 鳩が飛び立つ日 ~石井筆子~	C [社会参画, 公共の精神]	p.64-69	1
12 フットライト	B [友情, 信頼]	p.70-75	1
13 日本の伝統文化 将棋	C [我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度]	p.76-79	1
14 サルも人も愛した写真家	D [自然愛護]	p.80-83	1
15 ひび割れ壺	A [向上心, 個性の伸長]	p.84-85	1
16 二通の手紙	C [遵法精神, 公徳心]	p.86-91	1
17 裁判員制度を考える	C [社会参画, 公共の精神]	p.92-95	1
18 校長先生の模擬面接	B [礼儀]	p.96-99	1
19 カーテンの向こう	D [よりよく生きる喜び]	p.100-105	1
20 ふきのとう	C [勤労]	p.106-109	1
21 いのちの花プロジェクト	D [生命の尊さ]	p.110-113	1
22 家族の思いと意思表示カード	D [生命の尊さ]	p.114-115	1
23 あふれる愛	C [国際理解, 国際貢献]	p.116-123	1
24 片足のアルペンスキーヤー・三澤拓	A [希望と勇気, 克己と強い意志]	p.124-129	1
25 テーブルの卵焼き	C [家族愛, 家庭生活の充実]	p.130-135	1
26 足袋の季節	B [思いやり, 感謝]	p.136-139	1
27 憧れの消防団	C [社会参画, 公共の精神]	p.140-145	1
28 償い	D [よりよく生きる喜び]	p.146-149	1
29 旅立ちの日に	C [よりよい学校生活, 集団生活の充実]	p.150-155	1
30 もう一つの時間	D [感動, 畏敬の念]	p.156-160	1
31 駐車場係として	A [自主, 自律, 自由と責任]	p.162-164	1
32 音楽は対話の始まり	C [社会参画, 公共の精神]	p.165-169	1
33 琵琶湖の水を京都に送る ~郷土の復興に尽くした北垣国道と田辺朝郎~	C [郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]	p.170-175	1
34 世界に誇る「BONSAI」	C [我が国の伝統と文化の尊重, 国を愛する態度]	p.176-179	1
35 カムイモシリとアイヌモシリ	D [感動, 畏敬の念]	p.180-183	1
[資料] 都道府県にゆかりのある人物と、その言葉	C [郷土の伝統と文化の尊重, 郷土を愛する態度]	p.184-189	—
道徳の学びを記録しよう	全般	p.190-191	—
これからを生きる皆さんへ	全般	p.192	—
		計	35